

2012年度欧文研究報告論文賞授賞理由について

2012年度欧文研究報告論文賞の授賞理由につき、以下の通り報告いたします。

第17回 欧文研究報告論文賞 [2編]

論文題目 : LoCuSS: Subaru Weak Lensing Study of 30 Galaxy Clusters.

著者 : Nobuhiro Okabe, Masahiro Takada, Keiichi Umetsu, Toshifumi Futamase, Graham P. Smith

出版年等 : PASJ, Vol.62, pp.811-870, 2010

授賞理由 :

本論文は、赤方偏移 $z = 0 \sim 15$ から $z = 0 \sim 3$ の銀河団30 個に対して、弱い重力レンズ効果の解析から銀河団の質量と質量分布を体系的に調べ、冷たいダークマター (CDM) モデルのシミュレーションと比較検討し、宇宙における構造形成の問題に重要な貢献をしたものである。その優れた成果により2012年度欧文研究報告論文賞が授与された。

論文題目 : Global Radiation-Magnetohydrodynamic Simulations of Black-Hole Accretion Flow and Outflow: Unified Model of Three States.

著者 : Ohsuga Ken, Mineshige Shin, Mori Masao, Kato Yoshiaki

出版年等 : PASJ, Vol.61, pp.L7-L11, 2009

授賞理由 :

本論文は、大局的二次元輻射磁気流体力学シミュレーションにより、磁気乱流生成と輻射輸送過程を磁気流体の運動と同時に自己矛盾なく解き、ブラックホール周辺の降着と噴出流の統一描像に関する理解を大きく前進させたものである。その優れた成果により2012年度欧文研究報告論文賞を授与された。

[トップページに戻る](#)